

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

北海道岩見沢市 総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	対象	ド透未ガ	救臨感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
75,522	30,927	-	第2種該当	7：1

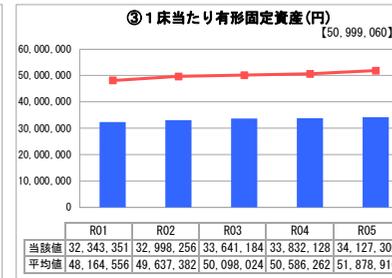
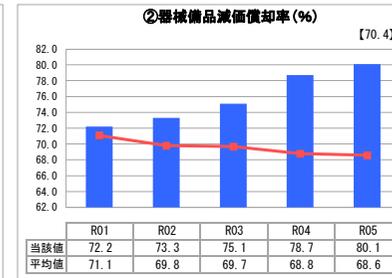
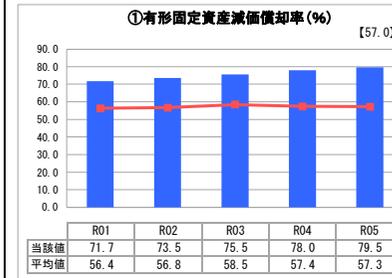
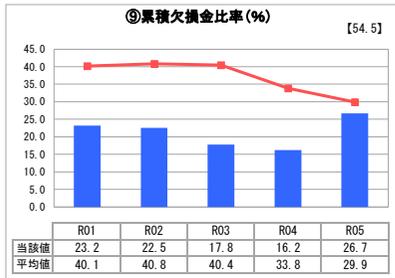
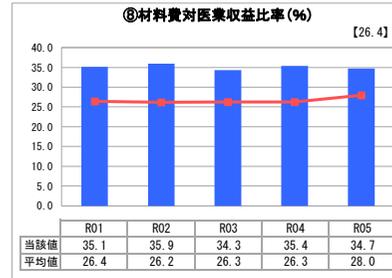
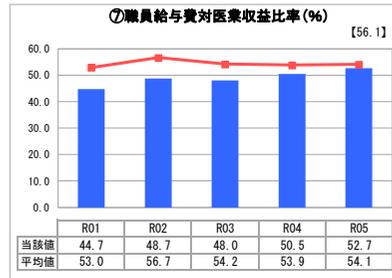
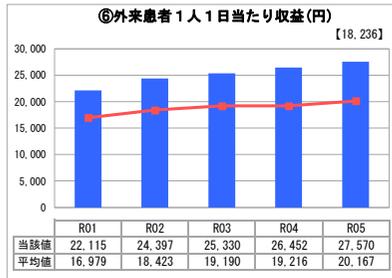
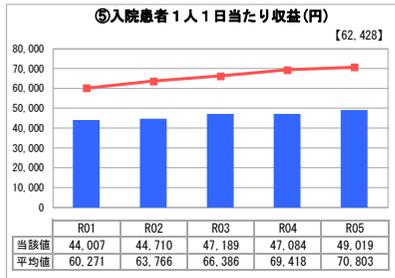
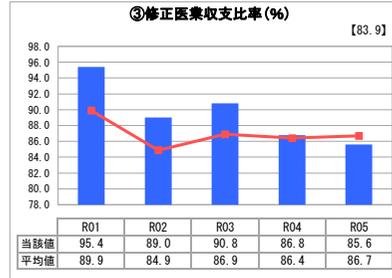
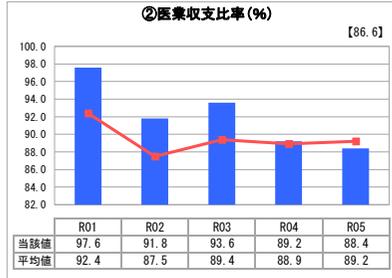
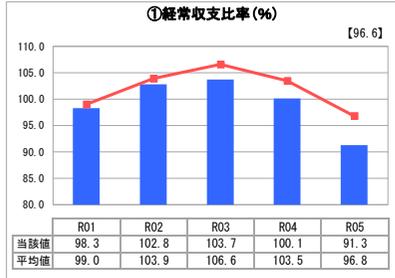
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
365	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
115	4	484
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
288	-	288

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の規模・ネットワークを維持)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

当院は、南空知医療圏において、救急医療、小児医療及び高度医療などに対応可能な地域センター病院として、圏域内の中核的な役割を担っているほか、災害拠点病院の指定、地域周産期母子医療センターの認定を受けており、当市はもとより、南空知医療圏域から多くの入院患者や外来患者を受け入れています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①②③④では直近の推移として、新型コロナウイルス感染症の影響による一部入院制限や診療制限を行ったため、入院・外来患者が減少傾向となっていたところ、令和5年に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となった後も患者数がコロナ禍以前の水準に戻らなかったことから、経常収支比率、医業収支比率、修正医業収支比率、病床利用率は減少しています。  
⑦については、昇給等による職員給与費の増加により、比率は増加しています。  
⑧では、院内処方の実施により、外来収益における薬品費の割合が高くなり、類似病院平均値を上回っております。  
⑨については、令和2年から令和4年までにおいては新型コロナウイルス感染症に関連する補助金の交付等があったことにより経常収支比率が改善したため、累積欠損金比率は下がっていましたが、令和5年においては当該補助金が減少となった影響を受け、比率は増加しています。

### 2. 老朽化の状況について

現在の病院施設は建築から35年以上が経過しており、経年による建物・施設の老朽化が進んでいます。①②ともに年々増加し、類似病院平均を上回っており、新病院建設を踏まえた設備等の更新及び修繕を計画的に実施する必要があります。

### 全体総括

施設等の老朽化が進んでおり、それに伴い修繕・保守に係る経費が年々増加傾向にあります。  
収支については、経常収支比率は類似病院平均値を下回っているため、今後の施設等の更新及び新病院建設に向けて、入院・外来収益等の増収や経費削減に努めることで、健全な病院経営を図っていく必要があります。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。